

J Aバンク山梨における地域密着型金融の取組状況（平成 26 年度）

J Aバンク山梨（山梨県下 11 J Aと山梨県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 25～27 年度 J Aバンク山梨中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 26 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

J Aバンク山梨は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク山梨は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 27 年 3 月末時点の J Aバンク山梨の農業関係資金残高^(注1)は 3,957 百万円（うち農業経営向け貸付金 3,722 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は 940 百万円を取扱っています。

(注)

- 1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。
- 2 J Aバンク山梨が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	平成 27 年 3 月末現在
農業	3,722
穀作	120
野菜・園芸	396
果樹・樹園農業	1,144
工芸作物	
養豚・肉牛・酪農	94
養鶏・鶏卵	27
養蚕	
その他農業	1,941
農業関連団体等	235
合計	3,954

(注)

- 1 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。
- 2 「農業関連団体等」には、J Aや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。

【資金種別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	平成27年3月末現在
プロパー農業資金	3,036
農業制度資金	921
農業近代化資金	544
その他制度資金	377
合 計	3,957

(注)

- 1 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク山梨が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク山梨が低利で融資するものを対象としています。
- 3 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

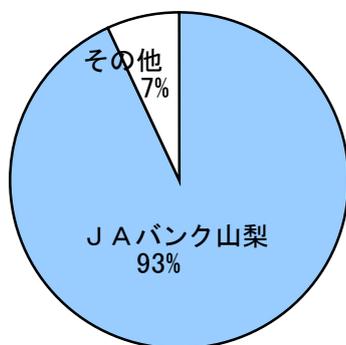
種 類	平成27年3月末現在
日本政策金融公庫資金	940
そ の 他	
合 計	940

(注) JAバンク山梨では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

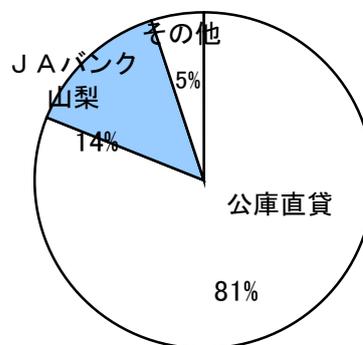
JAバンク山梨は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金(公庫直貸除く)の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【山梨県の農業近代化資金および公庫農業資金の取扱いシェア】

近代化資金取扱いシェア
(平成26年12月末時点)
出所：山梨県農政部



公庫農業資金取扱いシェア
(平成27年3月末時点)
出所：日本政策金融公庫



(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

J Aバンク山梨では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

J Aバンク山梨では、本支店の農業融資担当者が、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、平成 26 年度末時点で各 J A・信連に 40 名を配置しています。

J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は平成 26 年度末時点で県内に 8 名誕生しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

信連では、J Aのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター（農業金融部）」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めています。

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

J Aバンク山梨は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 次世代農業者の育成支援

J Aバンク山梨では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

単位 件, 百万円

	平成 26 年度 実行件数	平成 26 年度 実行金額	平成 27 年 3 月末 残 高
就農支援資金	1	2	45

(2) 農商工連携の推進

J Aバンク山梨では、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。

【平成 26 年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参 加 団体数	総来場 者数	内容
平成 26 年度農商工 連携マッチングフェア	平成 27 年 1 月 28 日	山梨県商工 会連合会	76 団体	304 名	農業資金・農業 ファンドの紹介

(3) 農業法人とのネットワーク拡大

J Aバンク山梨では、山梨県農業法人協会に参画し、ネットワーク拡大、関係強化に取り組んでいます。

(4) 被災者等への支援

J Aバンク山梨では、平成 26 年 2 月の雪害被災者を迅速に支援するため、行政等関係機関と連携したなかで「J A雪害緊急対策資金」を創設しました。

単位 件, 百万円

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行金額
J A雪害緊急対策資金	県内 11 J A	大雪により農業用施設等の損壊を受けた農家等に対し、実質金利負担ゼロの利子補給措置を講じました。	614	3,113

(5) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク山梨では、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

【平成 26 年度 農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

	期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
		a	b	c		
正常先①						
要注意先	うち その他要注意先②	3	2	3	66.7%	0.0%
	うち 要管理先③	1		1	0.0%	0.0%
破綻懸念先④						
実質破綻先⑤						
破綻先⑥						
	小計 (②～⑥の計)	4	2	4	50.0%	0.0%
	合計	4	2	4	50.0%	0.0%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 26 年 3 月末時点のものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

J Aバンク山梨では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金による経営支援

J Aバンク山梨では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成 26 年度 負債整理資金の貸出実績】

単位 件, 百万円

資金名	実行件数	実行金額	平成 27 年 3 月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	624	3,153	2,316
畜産特別資金			68
その他			
合計	624	3,153	2,384

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

(2) 動産担保融資の活用

J Aバンクでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っております。

山梨県における融資の実績は次表のとおりです。

【動産担保融資活用実績】

単位 件, 百万円

	平成 26 年度末	
	件数	残高
農産物	1	2
畜産物	1	19
機械設備		
その他		
合計	2	21

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク山梨では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 食・農への理解促進

J Aバンク山梨は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、平成 26 年度には県下の小学校 183 校へ約 11,000 冊配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下 J Aでは、食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A名	活動名	活動内容
フルーツ山梨	夏休み子供工作 と食育教室	J A管内の小学生を対象に，地元で収穫された農作物を材料にした料理教室。
ふえふき	お米作り体験教室	J A管内の小学生を対象に，田植え・稲刈りなどの農業体験。
ふじかわ	農業体験	J A管内の学校農園でのサツマイモやジャガイモなどの種子・苗を使用した農業体験。
梨北	家族料理教室	J A管内の保育園児・小学生とその家族を対象に，地元で収穫された米や野菜を材料にした料理教室。

以 上